

2002年8月5日

私が初めて松本医院にお世話になりましたのは平成13年7月11日でした。右膝が急に痛くなり曲げづらくなったので近くの整形外科で血液検査を受けましたら、RA定性が(+)と出ました。整形外科の先生がこれはリウマチと診断され、「これを治す方法は無い。」と聞いて帰ってきました。それから私の気持ちはどんどん悪くなっていくことばかりしか考えつかず、リウマチという病気はひどい激痛に悩まされ、また骨が変形して苦しんでいる人が多いと昔から聞かされていましてので本当にお先真っ暗な生活を送っていました。すると、娘の友達が松本先生の所で治してもらったと聞き、藁をも掴む気持ちで早速先生のところにお世話になりに行きました。

「必ず治してあげる。」と強く握手して下さり、このお言葉を信じて完治するまで私も頑張ろうと心に固く決めました。それから毎日煎じ薬をかかさず今日まで飲み続け、1年が過ぎようとしています。当分の間は1週間に1度親切な織田先生の針治療を受けました。織田先生はいつも明るい話題で話をしてくださったので、どんなに元気付けられたか知りません。お灸のご指導も受け、毎日自分で続けてきました。お陰様でリウマチと分かったのが早期だったのと、恐ろしいステロイド治療は一切受けなかったので回り道せずに済みました。血液検査をする度に数値も順調に下がり、完治も間近と信じています。

唯々、お世話になった先生に、感謝感謝の気持ちで一杯です。本当に有難うございました。